

第 3 回日・ASEAN 情報セキュリティ政策会議サマリーレコード：骨子

- 第 3 回日・ASEAN 情報セキュリティ政策会議を 2011 年 3 月 7 日及び 8 日開催。
- 阿久津内閣府政務官が開会の挨拶。東京大学・林教授とマレーシア情報通信文科省・マズマレク局長が共同議長を務めた。両共同議長は、国際化された企業活動における情報セキュリティの重要性及びサイバー攻撃の高度化に対応した情報セキュリティ対策の必要性を強調。
- 2011 年 1 月の日・ASEAN 情報通信大臣会合及び日・ASEAN 経済大臣会合プロセスにおける「情報セキュリティ分野における日・ASEAN の連携枠組み」の承認又は報告を確認。
- ASEAN 側及び日本側における情報セキュリティ向上のための取組を認識・評価。セキュアかつ信頼性のある環境を醸成するためにそのような取組を更に実施していくべきことで一致。
- 国際連携及び官民のセキュリティ対策の推進の重要性を認識した上で以下について説明・議論。
 - 情報セキュリティ分野における戦略策定のための政府の取組の推進
 - 重要情報インフラ防護のための官民連携の推進
 - セキュアで信頼できる ICT 環境の実現に向けたネットワークオペレータ間の連携の重要性・可能性
 - ビジネスにとっての情報セキュリティの重要性及びセキュアなビジネス環境の構築に向けた取組の重要性
 - CSIRT 間の連携向上に向けた措置及び企業の情報セキュリティ向上に向けた取組
 - スпам対策やボット対策など、ASEAN における情報セキュリティ計画の実施
- ASEAN 側はネットワークの信頼性、情報セキュリティ、データプライバシー、CSIRT 協力に関する活動を通じて ASEAN・ICT マスタープラン 2015 を実施する意図を表明。
- 日本側産業界からの情報セキュリティに関する発表を評価し、情報セキュリティに関して様々なレベルで関与していくことの重要性を共有。
- ERIA（東アジア・ASEAN 経済研究センター）からの発表を評価し、セキュアなビジネス環境の構築に向けて ERIA との協力を行っていくことが有益との見解を共有。
- 情報セキュリティに関する意識啓発の重要性を共有し、「情報セキュリティ意識啓発イニシアティブ」を推進することで一致。具体的には、日 ASEAN で共同した意識啓発期間の検討や共通のスローガン・ロゴ等の作成に向けた取組を実施。
- CSIRT 間連携の向上とネットワークオペレータ間の連携を継続する意思を改めて確認。
- ASEAN 側が提示した IT セキュリティ成長モデルの構築への貢献を奨励。意識啓発、IT セキュリティ成長モデル、情報セキュリティにおけるフレームワークを議論するため、日本側が技術ワークショップを 2011 年秋に開催することを表明。
- 2012 年以降の活動のために日・ASEAN 双方における連携の分野・内容が適切にレビューされるべきであり、そのための協議を開始するとの見解を共有。また、マレーシアに対し、第 4 回日・ASEAN 情報セキュリティ政策会議の開催を検討することを要請。

以上